

9月18日（木）産業社会と人間「職業新聞輪読」



本日の「産業社会と人間」の授業では、生徒たちが3時間をかけて制作した「職業新聞」の輪読活動を行いました。これは、それぞれが関心を持った職業について調べ、記事としてまとめたものをクラス内で共有し合う取り組みです。

輪読では、仲間の新聞を読みながら、特に優れていると感じた点に付箋を貼って評価しました。多くの付箋が集まった作品の制作者は、授業の最後に前に出て、自身の新聞づくりの工夫や調査で得た気づきなどを発表しました。

どの新聞にも、それぞれの生徒が工夫を凝らし、文章表現やレイアウト、職業への関心の深さがにじみ出る力作ばかりでした。この活動を通して、生徒たちは単に職業について知るだけでなく、他者の表現を読み取り、自分の考えを発信する力も養うことができました。